

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名： 鈴木 克宗

事業名 一般国道377号 弘川拡幅		事業区分 一般国道	事業主体 香川県
起終点 自：香川県東かがわ市五名 至：香川県さぬき市多和		延長 2.88km	
事業概要 一般国道377号は県内陸部の東西交通の骨格をなす広域幹線道路である。本事業は、幅員狭小、線形不良かつ異常気象時に通行制限される隘路区間の解消を図り、安全で円滑な交通の確保を目的とした、二車線整備事業である。			
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H9年度用地着手	H9年度工事着手
全体事業費	40億円	事業進捗率	38%
計画交通量	1,064台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 21 / 44 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 29 / 44 億円
	(残事業)	事業費：18 / 41 億円 維持管理費：3 / 3 億円	基準年：平成17年 走行時間短縮便益：28 / 43 億円 走行費用減少便益：1 / 1 億円 交通事故減少便益：0 / 0 億円
感度分析の結果 実施なし			
事業の効果等 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される。） 他4項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 沿線地区（市町村合併により現在2市）で構成されている国道377号（東讃地区）整備促進期成同盟会より本路線の早期整備の要望（平成17年8月19日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成13年度に本工区東側の五名工区0.87km（内トンネル468m）が供用し、それに続く本工区への早期整備の期待は高まっている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度末までに1.0kmを供用しており、大窪トンネル（延長322m）を平成16年12月に着工し工事の促進を図っている。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収は完了しており、平成20年代半ばの全線供用を目標に工事を進めている。			
施設の構造や工法の変更等 未施行の橋梁については、安全かつ経済的な工法を検討していく。			
対応方針 継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。